

30th Anniversary



2017 No.318 9月号

News

全国整備工場の皆様へ
NGP組合員200拠点がお届けする
お役立ち情報

2017年9月19日発行
■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリオス
■発行/(株)NGP東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL03(5475)1200

定価/1部30円

自動車リサイクル部品産学共同研究会の最新研究成果

NGPリユース部品において 新たに40部品の環境負荷低減効果を発表 全部品販売点数の90%以上に対して CO₂削減量算出が可能に

2013年よりNGP、富山県立大学、明治大学が共同で進めてきた自動車リサイクル部品産学共同研究会は、リサイクル部品の環境貢献を論理的に説明することを目的として、NGPリユース部品使用によるCO₂削減数値に関する調査研究を進めてきました。2016年4月には、部品販売点数の約75%を占める主要売れ筋部品の上位50部品を対象とした、NGP独自のCO₂削減数値を専用のWebサイト「NGPエコプロジェクト」(<http://www.nepp.jp/>)で公開しています。

そしてこのほど、新たに「40部品」の調査が完了し、主要売れ筋部品「90部品」のCO₂削減数値の算出が可能となったことが発表されました。これにより、全部品販売点数の91.4%をカバーすることが可能になります。

リサイクル部品を使用することによって生じるCO₂削減効果は、新品部品生産によるCO₂排出量とリサイクル部品生産時のCO₂排出量を比較することで算出して



CO₂削減効果算出の考え方

います。

リサイクル部品生産時のCO₂排出量を算出するため、研究会メンバーは実際に生産工場へ赴き、一つひとつの生産工程について、所要時間や使用工具・機械を計測しています。その後、各作業で使用した工具・機械の消費電力・燃料を調査して、CO₂排出量を算出しました。

新品部品についてはパーツごとに素材及び重量を調査することで、部品を生産するために必要な原材料の発掘から輸送、加工において排出されるCO₂排出量を計算しています。

さらに現在、リビルト部品のCO₂削減効果について調査・研究を開始しています。すでに複数のリビルトメーカーのご協力のもと、リビルト部品を生産する際のCO₂排出量調査を実施しており、部品の入庫から分解、洗浄、チェック、加工・調整、組み立て、テスト・検品、出荷までの各工程

を計測しました。

8月18日にNGP会議室（東京都港区）で開催された第33回研究会では、計測結果をもとにリビルト部品を生産する際に発生するCO₂の排出量をどのように分析するかを検討しています。また研究会メンバーからリビルト部品の環境貢献について、CO₂削減量だけではなく部品寿命の延長による有意性も考慮したいとの考えが示されるなど、活発な意見交換が交わされています。リビルト部品についての研究成果は、来期以降の報告を目指しています。

同研究会は、自動車を修理する際に新品部品ではなくリサイクル部品を使用した場合のCO₂削減効果について、その根拠を公開することで説明責任を果たしてきました。今後も研究会の取り組みを通じてリサイクル部品の利用を促進し、地球温暖化防止に向けたCO₂排出量の削減を啓蒙していきます。



第33回研究会の様子

NGP組合員探訪

【第7回】
関西支部 (その1)

今回は全国 142 社 186 拠点の NGP 組合員の中から、関西支部に所属する 4 社をご紹介します。

(株) カンザキ



NGP代表
永本 貴夫

1964年に創業、1987年にNGPグループへ入会致しました。創業が古いこともあり色々なお客様にご紹介をいただき、現在は滋賀県内及び隣接県までお取引させていただいております。

NGP三大信条のもと、リサイクル部品の販売においてはできる限りお客様のニーズに応えられるよう、生産においては適正にテスト及び検品し、一品でも多くお客様に届けることができるように努力しております。これからも自動車の適正処理及びリサイクル部品の販売を通じて、お客様に選んでいただけるように、社員一同努力して参ります。

【所在地・お問い合わせ先】

滋賀県東近江市沖野2-1-6
TEL : 0748-22-1389 FAX : 0748-20-2001
<http://www.ngp.gr.jp/k701/>

(株) エコパーツ京都



NGP代表
安田 鉄男

弊社は1976年4月、京都市にてヤスダ商会として創業し、1988年4月にNGPグループへ入会致しました。その後本社を八幡市に移し、2001年7月に社名を「株式会社エコパーツ京都」へ変更しました。

当社は国宝石清水八幡宮に近く、歴史に親しみながら、地元京都府近隣を商圏とし、地域密着の姿勢で業務に取り組んでおります。環境負荷の少ない自動車リユースパーツの商品価値を損なわないよう、NGP商品化基準を遵守し、入念なチェックで高品質な商品の生産に努めています。

今後も全国のNGPの優良な商品をお客様に1点でも多くご提供できるよう、社員一同努力して参ります。

【所在地・お問い合わせ先】

京都府八幡市下奈良小宮44-1
TEL : 075-983-9991 FAX : 075-983-9992
<http://www.ngp.gr.jp/k702/>

(株) 多田自動車商会



NGP代表
平田 武士

1977年に兵庫県三木市にて創業し、1990年1月にNGPグループへ加盟致しました。その後1996年に大阪営業所を開設、2010年には神戸市で中古自動車のレンタカー、カーリース事業を開始し、カーリース事業は2013年にひょうごクリエイティブビジネスグランプリ優秀賞をいただくことができました。また2014年より廃タイヤのリサイクル処理も始めております。

当社は自動車リサイクルを通して、地域の環境、社会、お客様に貢献し、お客様にとってより利用価値の高い、支持され続ける会社を社員一同追求して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

【所在地・お問い合わせ先】

兵庫県三木市福井2265
TEL : 0794-83-0162 FAX : 0794-89-2019
<http://www.ngp.gr.jp/k703/>

(株) ラ・テール



NGP代表
新井 性奉

1957年4月に共立商会として創業し、1990年9月にNGPグループへ入会致しました。その後2001年の法人化に伴い屋号を株式会社ラ・テールに変更し、京都府全域にリサイクル部品を納品させて頂いております。新たな社名はフランス語で「地球」を意味しており、環境問題を重視する当社の姿勢を表しています。

これまでに、ISO14001・9001・27001の認証を取得致しました。また、経営会議や部署間連携ミーティングを実施することで、全社一丸となって顧客サービスの向上に努めております。これからも社員一人ひとりが経営者マインド・広い視野・責任感を持って業務を遂行して参ります。

【所在地・お問い合わせ先】

京都府京都市南区上鳥羽南苗代町5-1
TEL : 075-681-3431 FAX : 075-692-2090
<http://www.ngp.gr.jp/k704/>

【第8回】

高品質を保つ徹底した
「保管」・「梱包」を
実現するNGP基準

NGPでは、システム上に商品として登録した時の状態をお客様にお届けするまで維持し続けるために、独自の「保管基準」を定めています。

すべての商品を屋内に保管することはもちろん、部品種別ごとにそれぞれ詳細な基準を設定し、不適切な保管による損傷や不具合の発生を防いでいます。

たとえばフェンダーなどの外板部品においては、一つの棚に保管して良い部品点数の上限や、間にクッション材を入れることなどを、エンジンAssyに対しては、「長期保管時にはオイルなどをシリンダー内に少量入れて完全密閉する」、「最低でも年2回の棚卸し時にはクランキングを行う」、「土間置き禁止（パレット置きを原則とする）」、「エキゾーストパイプ、マウント、ブラケットはガス切断禁止」、

「切断したホース、ワイヤー類は必ず元から取り外す」ことなどを定め、徹底した品質管理に努めています。

保管基準によって適切に管理してきた商品を、高い品質のままお客様へお届けするために欠かせないのが「梱包」です。

NGPの梱包基準は、「運送事故を未然に防ぐ」ことを目的として定められたものです。段ボール箱の強度を保つための方法や、箱の中で商品が動かないように固定する方法、オイル漏れ等を防止する方法などが明記されています。

また、基本的に発泡スチロール等の樹脂クッションを使用することが禁じられています。これは、樹脂クッションは商品の保護という観点からは非常に優れた素材なのですが、地域によっては処分するのにコストが掛

かる等の問題があるからです。NGPではダンボールクッションを用いることでそういった問題に対処しております。

NGPは梱包基準だけではなく、繰り返し使うことができるリターナブル梱包材の利用による環境対応にも取り組んでおります。また組合員各社の連携により、部品品番ごとの注意点についての情報共有を図るなど、常に高品質な商品を安全にお客様のもとにお届けする方法を検討し続けています。

NGPは今後も、適切な「保管」と安全な「梱包」を徹底することで、高品質な商品を迅速にお届けして参ります。(続く)



自検協及び全軽自協、世帯あたりの普及台数を発表

前年と比較して、自家用乗用車は減少、軽自動車は微増に

自動車検査登録情報協会（自検協）は8月15日、2017年3月末時点における自家用乗用車（登録車と軽自動車の合算）世帯当たり普及台数を発表しました。

それによると、自家用乗用車普及台数は前年度より約42万台多い61,018,814台で、外国人住民を含めた世帯数は前年度より約52万世帯多い57,477,037世帯でした。保有台数に比べ世帯数の伸びが大きかったため、世帯当たり自家用乗用車普及台数は、前回調査より0.002台少ない1.062台となりました。

また、全国軽自動車協会連合会（全軽自協）は7月10日、2016年12月末時点の軽四輪車世帯当たり普及台数を発表しました。

軽四輪車の保有台数は前年より約25万台多い30,551,361台で、外国人住民を除く世帯数は前年より約41万世帯多い56,221,568世帯でした。その結果、軽四輪車の世帯当たり普及台数は0.54台で、前年比微増（0.0005台増）となりました。

都道府県別にみると、自家用乗用車の世帯当たり普及台数が1.5台を超えていたのは、福井県、富山県、山形県、群馬県、栃木県、茨城県、岐阜県、長野県、福島県、新潟県、山梨県、佐賀県の12県でした。一方、1台に満たない都道府県は、東京都、大阪府、神奈川県、京都府、兵庫県、千葉県、埼玉県の7都府県です。また軽自動車においては、佐賀県、鳥取県、長野県、山形県、鳥根県、福井県の6県で、世帯当たり保有台数が1台を超えていました。

軽自動車においては、軽自動車税増税や燃費不正問題などで新車販売台数が減少したことにより、その普及台数の伸びにも鈍化が見られましたが、2017年4月から7月まで4ヵ月連続で新車販売台数が前年を上回るなど、回復傾向が見られています。また登録車も2017年1～7月の新車販売台数が前年同期より1割近く増加していることから、今後の普及台数においても拡大が期待されます。

Topics

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

平成29年7月： 2,806t



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

平成29年7月： 7.6t

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の50品目（左右ある部品を含むと64品目）を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

スキャンツールセミナー応用編を開催 使える部品を探す目利き能力を高め、 生産能力向上を目指す



2015年より開催しているスキャンツールセミナーが今年度より基礎編と応用編に分かれ、その応用編が7月より、全国のNGP協同組合9支部で順次開催されています。

基礎編では、スキャンツール（MST 2000）の基本的な操作方法や機能の説明、実車を用いた簡単な故障診断、排出されたダイアグノーシスコードの消去、アクティブテスト機能を使った電装部品



の故障個所の特定などを習得してきました。応用編はより実践的なカリキュラムで構成されており、特に実車を用いた実習は非常に高度な内容となっています。

7月26日、(株) あいおいニッセイ同和自動車研究所・東富士センター（静岡園裾野市）にて開催された応用編では、プリウス（VW5#系）を3台用意し、それぞれの車両に異なるトラブルを設定しています。そのため、診断装置で排出される結果は様々で、故障原因の特定についてもまったく異なるアプローチが必要となりました。

今回確認した事例は、故障診断装置を使いこなさなければ、不動車扱いとしてエンジンやトランスアクスルまわりの部品は生産しないと判断しかねないものばかりでした。エンジン、トランスミッションや補機類などの機械部品は貴重な収

益源であり、判断を誤ると大きな損失につながる可能性があることを実感する内容となりました。

受講後の感想で三協自動車（株）の金子治樹さんは「スキャンツールを使いこなすことは、今後必須となります。毎日使って自分のものにしていきたいです」と、研修の経験を振り返り、減少傾向にある入庫車両を余すところなく活かす決意を新たにしていました。オレンジパーツ平成の望月信也さんは「データを取得して、数値から車の不具合の原因が特定できることを学びました。内部で起きている不具合が分かれば、自信を持って商品化することができ、生産数も増加すると思います」と、スキャンツールの有用性を改めて実感しています。

ご好評にお応えして 「NGP30周年ありがとうキャンペーン」 第二弾、開催中

今年4～6月の3ヵ月間にわたって開催致しました「NGP30周年ありがとうキャンペーン」では、7,146件に上るたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

皆様から大変なご好評をいただいたことを受けまして、キャンペーン第二弾「NGP年末ジャンボ感謝祭2017」を開催中です。キャンペーン期間は9月1日～11月30日（当日消印有効）までの3ヵ月間です。

前回同様、期間中NGPのリユース部品1点ごとに必ず添付されるギャランテ

ィシールを5枚集め、キャンペーン告知チラシ裏面の応募用紙に貼り付けてご応募いただけますと、抽選で合計130名の方に「年末ジャンボ宝くじ」をプレゼント致します。

応募用紙は各NGP組合員より皆様に配布するほか、当組合Webサイト (<http://www.ngp.gr.jp/30th>) からダウンロードすることも可能です。

なお、ギャランティシールの下側に付いているベルマークは、必ず切り離してからご応募下さい。切り離れたベルマークは近隣の学校にご提供いただき、地域



プレゼント
内容

- 1等：年末ジャンボ宝くじ300枚..... 10名様
- 2等：年末ジャンボ宝くじ100枚..... 10名様
- 3等：年末ジャンボ宝くじ30枚..... 10名様
- 4等：年末ジャンボ宝くじ10枚..... 100名様

社会への貢献にご活用いただければ大変嬉しく思います。

お一人様何口でもご応募いただけます。皆様からのご応募をお待ちしております。

【お詫びと訂正】 NGPニュース317号3面「ここが違う! NGPリサイクル部品」において、検査基準を設けている部品品目に誤りがございました。正しくは、「エンジン」、「ミッション」、「ターボチャージャー」、「オルタネーター」、「A/C コンプレッサー」、「パワステポンプ」、「スターター」、「スロットルボディ」、「噴射ポンプ」、「キャブレター」の10品目です。関係者各位には大変ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げますとともに、ここに訂正させていただきます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<http://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<http://www.ngp.co.jp/>